

## 平成29年度 社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会事業計画（案）

### 重点目標

#### 地域福祉関係

- ① 住み慣れた地域で支えあい安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指し、地域における支え合い体制の確立を地域の方々とともに進めます。
- ② 次世代を担う児童・生徒の福祉教育を推進するとともに、災害時のボランティア活動に対応できる体制づくりを進めます。
- ③ 福祉地域座談会での住民の声を活かした事業推進をするため、行政を始めとした関係機関・団体との連携強化を図ります。

#### 介護サービス関係

- ① 利用者の声を的確に反映しながら、広い視野と柔軟な対応を身につけ、職員同士が協力し、質の高い業務の遂行に努めます。
- ② 関係法令を遵守し、安全で良質なサービス提供に努めます。
- ③ 昨年度から介護予防・日常生活支援総合事業が始まりました。社協らしさを活かした事業を進めるとともに、利用者個々が豊かで快適な生活が出来ることを目指して「感謝の心」「謙虚な心」「共感する心」でサポートいたします。

平成29年度には第2期地域福祉活動計画の最終年度を迎え、事業実施状況を振り返りそれを踏まえ、住民の声を活かして第3期地域福祉活動計画を策定します。

新たに4月から、町から小規模保育事業を受託運営します。指定管理を受託している保健福祉センターでは、町民の健康増進・健康寿命の延伸を支援する健康増進事業に取り組み、他の地域福祉事業・介護サービス事業とともに『0歳から100歳まで』社協として地域住民の生活を支援していきます。

平成28年度から町より委託を受けて実施している、独居及び高齢者のみの世帯で実態把握を必要とする高齢者について訪問介護員等による実態把握と、気になる方に対しての見守りも引き続き行い、民生児童委員や地域住民と連携を取りながらひとり暮らし高齢者友愛訪問も継続実施して生活支援の充実を図ります。

また、平成28年4月から当社協で実施している福祉サービス利用援助事業及び3年目となる自立相談支援事業においても、利用者に寄り添いながら相談に応じ、自立した生活を送ることができるよう支援をしていきます。

この3月より開設しました伯耆町社協のホームページを活用し、住民の皆さんに情報発信をしていくように努めます。

平成29年度事業説明資料

区分	事業区分		事業内容・実施方法	実施回数等	事業効果	
	新規	継続				
地域福祉事業	愛の輪運動事業					
		福祉ネットワークづくり	○	福祉委員研修会の開催、愛の輪推進会議の開催	3	小地域ネットワークの構築・連携強化とキーパーソンの養成
		福祉委員活動助成	○	集落での福祉委員活動に対する助成を行なう	80	福祉委員活動の推進、定着
		いきいきふれあいサロン	○	各集落公民館で開催	85	閉じこもり防止と安否確認。地域で新たな出会いや生きがいづくり
		日常生活用具貸与事業	○	緊急通報用装置、車椅子の貸出	随時	緊急時に迅速な対応ができる。独居・虚弱老人・障害者世帯、又別居の親族に対して安心感を持っていただく
		さわやか福祉事業				
		高齢者いきがい対策事業	○	独居高齢者の集い(実りの会)	6回	独居高齢者の閉じこもり予防、仲間づくりとして町内外へ研修、講習を計画。最近では、参加者も多く、また新規会員も増えている
			○	友愛訪問(75歳以上の独居高齢者訪問)	通年	独居高齢者が増加する中で、訪問により困りごとなどを聞き、必要に応じて関係機関や自治会と協力して支援を行っていく。
			○	緊急カード、キーホルダーとキーフックの配布	通年	外出時緊急対策として連絡先の記載があるカードを発行。緊急カード保持キーホルダーとキーホルダーのフックを配布。外部から見ても、緊急カード保持が分かり易くなっている
		福祉地域座談会	○	平成27年度から介護保険改正について、その内容と今後の地域福祉のあり方について住民に説明を行う。特に地域で支えることが今は求められているので、その点について重点的に説明を行う。	30	これからの介護保険、地域福祉の動向を住民に理解してもらい、支え合いの町づくりを進めていくための基礎とする。
	地域福祉活動計画	○	第2期計画の事業実施状況を振り返り、第3期計画に向けて検討を行う。	随時	第2期計画で達成できなかったことを踏まえつつ、今後進めていく事業目標を検討し、第3期計画を作成し、地域での支え合い活動等を推進していく。	
	困窮時食料支援事業	○	生活に困窮し、食料に困った方を対象に、食料(購入費用)援助を行う。	随時	食べるものがないという命に関わる相談があった場合、緊急的に食料援助を行うことで、命をつなげることができる。	
		○	フードパートナー事業。生活に困窮し、食料に困った方を対象に、地域住民に食料品(主に米)を提供してもらう。	随時	食べるものがないという方を支援することができるとともに、地域住民に生活困窮の問題が身近にもあるのだと共有してもらうことができる。	
	配食サービス事業	○	75歳以上の独居高齢者や高齢者世帯、身体に何らかの障害がある方に、週二回昼食をお届けし、栄養摂取と安否確認を行う	2/週	独居高齢者等へ栄養摂取と安否確認を兼ねて週二回(火・木)実施。調理・配達は、ボランティアのご協力により行う。利用者増加に向け、広報誌や友愛訪問にてPRを災害時の体制、平常時の見守り体制等の普及を促進	
	わがまち支え活動支援事業	○	75歳以上の独居高齢者や高齢者世帯、身体に何らかの障害がある方に、週二回昼食をお届けし、栄養摂取と安否確認を行う	3件	地域住民が主体となっていく支え合いのまちづくりに対し助成を行う。	

地	ボランティア推進事業					
	ふくしの集い	○	ボランティア活動の啓発、ボランティアセンターの運営を行う。それにあたり、イベントのふくしの集いでPRを行う	1	これからの小地域福祉のあり方や、ボランティア活動の推進を図り、ふくしの集いのイベントにてPRを行う。	
	配食サービス活動助成	○	配食サービスのボランティアの方へ活動助成を行う	210人	助成を行うことで、ボランティア活動を円滑に行うことができる	
	災害ボランティア研修	○	災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営支援、ボランティアが行う活動について研修会を行う。	1	近年日本各地で災害が起きており、災害が起きた際に対応できる体制を構築する。	
域	福祉教育	○	町内小・中学生を対象に夏休みや総合的な学習の時間を利用して福祉関連体験学習を実施	通年	様々な福祉体験、多様な人との関わりのなかで将来の地域を担う子どもたちの福祉意識の醸成を図る。	
	共同募金配分金事業					
	おせち配布	○	年末に、ひとり暮らし高齢者等におせちを配布する	1回	心温まる正月をむかえていただくとともに、歳末募金の啓発	
	広報誌発行	○	年5回発行し、情報提供・福祉啓発を行う	5回	啓発広報活動による情報提供、情報収集	
	集落助成事業	○	集落での世代間交流事業等に助成を行う	4件	共同募金の啓発、地域福祉の促進	
	社	はつらつ教室	○	軽度認知症及びその疑いのある者に対して4教室毎月2回の予防教室を実施する	96回	認知症予防、心身ともに元気で過ごしてもらう生活習慣づくり
		運動器機能向上教室	○	週1回×12週を1クールとして、年3クール実施。	36回	運動するための動機づけ、生活意欲の向上、活動性の維持向上を図り、要介護状態への移行を防止
		高齢者生活機能向上教室	○	虚弱な高齢者を対象として生活機能向上のための教室を、岸本・溝口地区で月2回実施。	24回	高齢者の要介護状態への悪化防止を図る。
		業	福祉サービス利用援助事業	○	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な人が自立した日常生活が送ることができるよう、福祉サービスの利用援助等を行う。	随時
	生活困窮者自立相談支援事業		○	生活困窮者の課題を聞き取りし、ニーズを把握。それに基づいたプランを作成し、相談者と共に課題解決を図っていく。平成29年度からは無料職業紹介事業所の許可を取得し、就労支援を充実させる。	随時	様々な要因が重なり合い生活に困窮している方に寄り添いながら支援することで、早期の課題解決を図り、自立して生活することができる。
生計困難者に対する相談支援事業(えんくるり事業)	○		深刻な生活課題の解決に向け、既存制度では対処できない事案に対して関係機関と協力して支援をする。必要に応じて、経済的支援を行うこともできる。鳥取県社会福祉協議会を基幹として、県内社会福祉法人と共同で行う。	随時	県内社会福祉法人と協同して生活に困った方に対して支援を行うことで、制度では対処できない課題を解決することができる。	
公益事業	小規模保育事業		○	町立小規模保育所こどもパルの管理運営業務 ・定員 19人 ・対象年齢 0～2歳	通年	低年齢児の保育ニーズに対応した、少人数できめ細かな保育を実施する。
収益事業	健康増進事業	○	岸本保健福祉センター指定管理業務の一環として、フィットネス&スタジオパルを運営	通年	町民の健康増進、健康寿命の延伸等を支援する。	

(単位:千円)

事業名	小規模保育事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		町受託金収入	その他(副食収入)		
0	23,013	22,789	224		

(事業内容の説明)

伯耆町立小規模保育所こどもパルが、平成29年度に新規開設されるにあたり  
その管理運営業務を伯耆町社会福祉協議会が受託する。

●施設等の概要

- ① 名称 伯耆町立小規模保育所こどもパル
- ② 形態 小規模保育事業(B型)
- ③ 所在地 伯耆町大殿1081番地7
- ④ 定員 19人
- ⑤ 敷地面積 899.93㎡
- ⑥ 構造等 木造平屋建
- ⑦ 建築面積 274.10㎡
- ⑧ 床面積 254.10㎡
- ⑨ 付属施設 専用駐車場(712㎡)
- ⑩ 職員体制 保育所長・保育士4人・調理員1人・パート職員4人  
(保育所長、保育士2人は町派遣職員)

(収支予算)

【収入】

①町受託金収入	
指定管理料	22,789,000 円
②その他収入	
副食費	224,000 円
合計	23,013,000 円

【支出】

①人件費支出	13,926,000 円	(保育士2人、調理員1人、パート職員4人)
②事業費支出	7,930,000 円	
③事務費支出	594,000 円	
④負担金支出	9,000 円	
⑤事業区分間繰入金支出	554,000 円	(法人運営事業へ)
合計	23,013,000 円	

平成29年度 健康増進事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	健康増進事業(フィットネス&スタジオパル)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳		
		事業収入 (利用料収入)		
0	23,974	23,974		
(事業内容の説明)				
<p>町が策定した「ほうき健康経営プロジェクト事業」計画に沿って、岸本保健福祉センター福祉棟を内部改修し、自立した経営を目指したスポーツジムを開設する。スポーツジムは、町民の健康増進や健康寿命の延伸だけでなく、町のイメージアップ、魅力度アップにも繋がり、この事業を社会福祉協議会が経営することは住民福祉の増進という社協のミッションにも合致し、社協の認知度アップにもつながる。</p> <p>●施設の概要</p> <p>① ジム (117.69㎡) マシン 17台                  ② スタジオ (106.58㎡) 1室                  ③ ロッカー室 2室                  ④ ホール、ギャラリー、事務室 各1か所</p>				
(収支予算)				
【収入】				
事業収入 利用料収入 23,974,000 円 会員数 400人 ジュニアスクール会員数 50人				
【支出】				
①人件費支出 15,621,000 円(インストラクター4人、パート職員3人) ②事業費支出 6,167,000 円 ③事務費支出 2,186,000 円 <hr/> 合計 23,974,000 円				

(単位:千円)

事業名		居宅介護支援事業 (ケアマネージャー)													
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳													
		居宅介護支援 介護料収入	その他の事業収入 (受託収入)	その他の事業収入 (その他の事業収入)	その他 (前期末支払資金残高)										
25,713	26,847	19,551	1,754	130	5,412										
(事業内容の説明)															
<p>○介護保険事業                      ケアマネージャーは要介護者(要支援者)が居宅で介護サービスを適切に利用できるような                      様々な手続きを行なってサポートする。</p> <p>【事業概要】</p> <p>1. 居宅介護支援サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅サービス計画の作成</li> <li>・要介護認定の申請及び変更の代行</li> <li>・給付管理票の作成及び提出</li> <li>・情報提供、連絡、調整</li> </ul> <p>&lt;職員数&gt; 5.2人(専任 5名、兼任 1名)</p> <p>&lt;目標数&gt; 給付管理業務月間実人員 要介護者 計 140人</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>要介護 1</th> <th>要介護 2</th> <th>要介護 3</th> <th>要介護 4</th> <th>要介護 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40人</td> <td>50人</td> <td>30人</td> <td>16人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>						要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	40人	50人	30人	16人	4人
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5											
40人	50人	30人	16人	4人											
<p>【収入】</p> <p>○介護給付費</p> <p>(月間) 要介護 1、2 1人 10,420円 × 90人 = 937,800円                      要介護 3、4、5 1人 13,530円 × 50人 = 676,500円                      介護報酬加算の算定(初回加算等) 15,000円</p> <p>(年間) 1,629,300円 × 12か月 = 19,551,600円①</p> <p>○受託事業</p> <p>1. 要支援認定者介護予防ケアマネジメントの受託</p> <p>&lt;目標数&gt; 給付管理業務月間実人数 要支援者 計34人</p> <p>&lt;事業費&gt;</p> <p>(月間) 1人 4,300円 × 34人 = 146,200円                      (年間) 146,200円 × 12か月 = 1,754,400円②</p> <p>2. 認定調査</p> <p>&lt;目標数&gt; 月間4人</p> <p>&lt;事業費&gt;</p> <p>(月間) 1人 2,722円 × 4人 = 10,888円                      (年間) 10,888円 × 12か月 = 130,656円③</p> <p style="text-align: right;">合計①+②+③ 21,436,656円 (21,435千円)</p>															
<p>【支出】</p> <p>①人件費支出 25,130千円                      ②事業費支出 641千円                      ③事務費支出 480千円                      ④支払利息支出 26千円                      ⑤リース債務返済支出 570千円</p> <p style="text-align: right;">合計 26,847千円                      (当期資金収支差額 -5,412千円)</p>															

平成29年度 介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		岸本通所介護事業							
前年度 当初予算額	本年度 予算額	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			拠点区分間 繰入金収入・ 前期末支払 資金残高
		介護報酬 収入	介護負担 金収入	事業費収 入	事業負担金 収入	食費収入	事業利用 者食費	いきいきデ イサービス 収入	
73,399	70,617	50,287	5,907	4,090	454	3,535	580	313	5,451

・介護保険通所介護事業、日常生活支援事業総合事業を行う。

【事業概要】要介護・要支援の認定を受けた利用者及び事業対象者に、適切な介護を提供し、自立支援を助け、家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方。

<自己負担介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として550円徴収。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※平成27年度より、中重度者ケア体制加算を実施。

※要支援の方は、平成29年3月までの更新で、介護予防・日常生活支援総合事業に移行。

【平成29年度 利用者数の年間目標:上段は平成28年実数、( )は実利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成28年度	794(9)	1,568(11)	2,210(13)	756(3)	837(2)	6,165(38)
平成29年度	738(8.4)	1,458(10.2)	2,055(12.1)	703(2.8)	778(1.9)	5,732(35.4)
	事業対象	要支援1	要支援2	計		総合事業合計
平成28年度	41(2)	144(4)	917(7)	1,102(13)		7,267(51)
平成29年度	38(1.9)	134(3.7)	853(6.5)	1,025(12.1)		6,757(47.5)

※ 平成29年度は28年度の数字のおよそ93%を目標数字にしています。

【収入】

①介護報酬・事業費収入	54,377 千円(介護50,287千円+総合事業4,090千円)
②介護・事業負担金収入	6,361 千円(介護5,907千円+総合事業454千円)
③介護・事業利用者食費収入	4,115 千円(介護3,535千円+総合事業580千円)
④いきいきデイサービス収入	313 千円(食費含む)
⑤拠点区分間繰入金収入	4,840 千円(センター屋根修理・ワゴン車更新)
計	70,006 千円

【支出】

①人件費支出	53,361 千円 (正職 6名、任用 6名、非常勤 12名)
②事業費支出	11,729 千円
③事務費支出	752 千円
④負担金支出	40 千円
⑤支払利息支出	7 千円
⑥拠点区分間繰入金支出	214 千円
⑦固定資産取得支出	4,373 千円
⑧リース債務返済支出	141 千円
計	70,617 千円 (当期資金収支差額 -611千円)

平成29年度岸本通所介護事業所行事予定

実施月	行事名	行事予定	ボランティア参加者
4月	上旬 屋外活動	屋食後、桜の名所に春の桜見物に出かける。(レク時間・6日間)	
	中旬 クッキングレク	ティータイムのお菓子「さくらもち」を作る。(レク時間・2日間)	
	下旬 花の種まき	デイサービス花壇に花の種をまく。	
5月	上旬 春のお茶会	ボランティアによる抹茶の接待 (レク時間・2日間)	抹茶接待のボランティア(1日あたり3人)
	中旬 屋外活動	屋食後、花回廊などに季節の花見に出かける。(レク時間・6日間)	利用者介助ボランティア(1日あたり5人)
	下旬 避難訓練	利用者を対象に火災を想定した避難訓練の実施。(レク時間・1日間)	
6月	上旬 笹まき作り	利用者が4班に分かれ1人2個ずつ笹まきを作る (レク時間・2日間)	
	下旬 健康講話	利用者を対象に「夏の健康管理」について講話。(レク時間・1日間)	仲村医師又はデイ看護師
	下旬 作品展	年間を通して、手作業で作った個人作品や共同作品、フラワーアレンジメントを展示、紹介	
7月	上旬 七夕交流会	中学校職場体験の学生と七夕祭をひらき、交流を図る。	中学生職場体験
	時期未定 ボランティア体験	夏休みを利用しての小、中、高の介護実習体験。	学生ボランティア
8月	下旬 お好みメニュー	屋食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(屋食・3日間)	
	上旬 夏祭り	夏祭りの雰囲気味わってもらう為、盆踊り、金魚すくい等を実施(レク時間・2日間)	学生ボランティア
9月	上旬 頭の体操講話	利用者を対象に講師による頭を使う体操の指導。(レク時間・1日間)	インストラクター 1人
	中旬 敬老会	敬老週間として、屋食に「長寿お祝い御膳、レク時間に演芸の披露(レク時間3日間)	演芸会出演ボランティア
10月	上旬 クッキングレク	「たこ焼き」を作り、みんなで試食する。(レク時間・2日間)	
	中旬 口腔ケア	利用者を対象に「口の中の衛生」について説明と歯磨き指導(レク時間・1日間)	歯科衛生士(米子保健所)
	下旬 秋のお茶会	ボランティアによる抹茶の接待 (レク時間・2日間)	抹茶接待のボランティア(1日あたり3人)
11月	上旬 屋外活動	屋食後、大山方面に紅葉見物(レク時間・6日間)	
	中旬 健康講話	利用者を対象に「健康づくり」について話しを聞く(レク時間・1日間)	仲村医師又は看護師
	下旬 防災・消防訓練	利用者を対象に地震を想定した避難訓練等の実施(レク時間・1日間)	
	下旬 手作業	きないや祭りに出展する作品の制作	
12月	上旬 東みづほ幼稚園交流会	東みづほ幼稚園児と交流を図る(レク時間1日間)	東みづほ幼稚園児
	上旬 こしき保育所交流会	こしき保育所児童と交流を図る(レク時間1日間)	こしき保育所児童
	中旬 クリスマス会	1年の締めくくりとして、クリスマス御膳の屋食、午後は演芸会を開催(レク時間3日間)	演芸会出演ボランティア
1月	上旬 新年会	利用者が1年間笑顔で過ごせることを祈り、演芸会を開催(レク時間2日間)	
	下旬 お好みメニュー	屋食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(屋食・3日間)	
2月	上旬 豆まき	豆まきを行って節分を楽しむ。(レク時間・2日間)	
	中旬 クッキングレク	ティータイムのお菓子、バレンタインデーにちなんで手作りケーキ作り。(レク時間・2日間)	
3月	上旬 ひな祭り	ひな祭りにちなんで作品作り。(レク時間)	
個別レク	午前レクを主に、手作業や計算など、脳の活性化を目指す。また、毎月、押し花、歌唱指導、隔月で日赤ボランティアも訪問され、交流を図る。		
午後レク	集団ゲームを中心に、交流と身体機能低下の予防を図る。また、不定期でハーモニカ演奏、ギターライブなどのボランティアが訪問され、交流を図		
運動・体操	午前レクの後、午後レクの前に、体操、運動を行い、身体機能低下の予防を図る。		
口腔ケア・体操	食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行い、口腔機能維持向上を目指す。		



事業名		溝口通所介護事業							
前年度	本年度	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			前期末支払 資金残高
当初予算額	予算額	介護報酬 収入	介護負担 金収入	事業費収 入	事業負担 金収入(公 費含む)	食費収入	事業利用 者食費	いきいき デイサー ビス収入	
62,428	54,965	38,448	4,592	3,038	387	3,291	457	0	4,752

・介護保険通所介護事業、介護予防通所介護事業を行う。

【事業概要】 要介護及び要支援の認定を受けた利用者に、適切な介護を提供し自立支援を助け  
家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

＜対象者＞ 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方。

＜自己負担＞ 介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として550円徴収。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※平成29年度より、認知症加算を実施し、中重度者ケア体制加算は廃止する。

※要支援の方は、平成28年4月以降の更新の時から、介護予防・日常生活支援総合事業に移行する。

【平成29年度 利用者数の年間目標:上段は平成28年度見込、( )は実利用者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成28年度	1,776(14.8)	2,602(16.4)	683(5.0)	394(4.5)	91(1.0)	5,546(41.7)
平成29年度	1,800(15.0)	2,600(16.5)	700(5.0)	400(4.5)	110(1.0)	5,610(42.0)
	要支援1	要支援2	計	介護・支援合計		
平成28年度	49(1.0)	780(9.2)	829(10.2)	6,375(51.9)		
平成29年度	60(1.0)	840(9.5)	900(10.5)	6,510(52.5)		

【収入】	①介護報酬・事業費収入	41,486 千円(介護38,448千円+総合事業3,038千円)
	②介護・事業負担金収入	4,979 千円(介護4,592千円+総合事業387千円公費含む)
	③介護・事業利用者食費収入	3,748 千円(介護3,291千円+総合事業457千円)
	④いきいきデイサービス収入	0 千円
	計	50,213 千円

【支出】	①人件費支出	45,966 千円 (正職 6名、任用 3名、非常勤 12名)
	②事業費支出	8,264 千円
	③事務費支出	547 千円
	④負担金支出	40 千円
	⑤支払利息支出	7 千円
	⑥拠点区分間繰入金支出	0 千円
	⑦リース債務返済支出	141 千円
	計	54,965 千円 (当期資金収支差額 -4,752千円)

平成29年度 溝口通所介護事業所(行事)予定

実施日		行事名	行事内容	開催方法
4月	上旬	お花見(開花や天気による)	伯耆町内近場の桜を車内から見学する。	6日間開催。
	中旬	☆春一番を食べる会	午後レクで、鉄板プレートで利用者に桜もち作りをしてもらう。	5日間開催。
5月	上旬	端午の節句	こいのぼり作り等をして作品展示を行う。	6日間開催。
	19日前後	創立記念(5月19日)	デイサービス開所25周年。昼食を特別メニューにする等、お祝いをする。	5日間開催。
6月	上~中旬	春の屋外活動	屋外へ散策に出かけ、散歩やお茶や買い物を楽しむ。	6日間開催。
	下旬	☆ホットケーキ作り	午後の食べ物作りのレク。鉄板プレートで利用者にホットケーキ作りしてもらう。	5日間開催。
7月	上旬	七夕まつり	昼食は七夕特別メニュー。午後レクで七夕まつりをする。	5日間開催。
8月	下旬	☆鉄板パーティー	昼食に鉄板プレートを使い、目の前でアツアツの料理を選んで食べる。	5日間開催。
9月	下旬	☆お好み焼きパーティー	午後レクで、鉄板プレートで利用者にお好み焼き作りしてもらう。	6日間開催。
10月	中~下旬	秋の屋外活動	屋外へ散策に出かけ、散歩やお茶や買い物を楽しむ。	6日間開催。
11月	下旬	☆お楽しみレストラン	昼食がセレクトメニューで、利用者が5~6品の中から好きな定食を選んで食べる。	6日間開催。
12月	中旬	クリスマス会	特別メニューやケーキやプレゼント配布。午後はクリスマス大演芸会を開催。	6日間開催。
1月	上旬	新年会	職員や利用者が参加して、歌や芸などを披露する。特別ゲストもお願いする。	6日間開催。
2月	上旬	節分行事	節分にちなんで鬼退治等のゲームをする。	6日間開催。
	中旬	だんだんまつり見学	午後レクの時間に、だんだんまつり[文化センター]見学に行く。	1日間開催。
	下旬	たたらまつり見学	午後レクの時間に、たたらまつり[二部公民館]見学に行く。	1日間開催。
3月	上旬	ひな祭り	ひな人形飾りを作って展示し、ちなんだゲームを行う。	5日間開催。
	上旬	お茶会	利用者やボランティアの方々にお茶をたてていただく等して、春のお茶会を楽しむ。	6日間開催。
	21日(祝)	彼岸市	午後レクの時間に、街中で開催される彼岸市の散策に出かける。	1日間開催。
	21日頃	溝口公民館まつり	午後レクの時間に溝口公民館まつり見学に行く。利用者の作品も展示する。	1~2日間開催。
年間	小学校等との交流会	地域福祉の事業とも協力して、小学校児童等との交流会を行う。	適時	
常設展示	利用者作品展	利用者の作品の発表の場をつくり、センター来所の町民の方々にも作品を見ていただく。		
毎日午前	手作業、自主運動、マッサージ	午前のレクは作品作りやボランティア交流や自主運動、マッサージ等行う。		
毎日午後	訓練室レクレーション	午後のレクは体操や集団ゲームで楽しく体を動かし、身体機能低下を予防する。		
毎日昼食前後	口腔体操・口腔ケア	食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行うことで口腔機能の維持向上を目指す。		

(単位:千円)

事業名	溝口訪問介護事業							
前年度	本年度	財源内訳						
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		その他の事業収入		受託金収入
予算額	予算額	介護報酬収入	介護負担金収入(公費含む)	事業費収入	事業負担金収入(公費含む)	補助金事業収入	にこにこヘルプ収入	
25,614	23,971	15,681	1,967	2,956	327	2,400	288	352

・介護保険訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業を行う。

【事業概要】 要介護及び要支援の認定を受けた利用者や、非該当の方に、適切な介護や生活援助を提供し、可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るように支援していく。また、単独生活支援事業を実施する。さらに町の高齢者実態把握及び見守り事業を受託する。

<対象者> 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方、非該当で支援が必要な方。

<自己負担> 介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業の利用の方は、介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担することになります。単独生活支援事業の利用の方は実費になります。昨年度から町単独加算を充当する。

※介護給付額はサービス提供時間・内容により異なる。

【平成29年度 利用者数の年間目標:上段は平成28年実数見込】

	要介護			介護予防(要支援1・2)		
	身体介護	生活援助	乗降介助	I	II	III
平成28年度	343	59	93	11	25	16
平成29年度	343	59	93	0	0	0

  

	総合事業					
	I	II	III	IV	V	VI
平成28年度	5	15	9	13	18	11
平成29年度	15	32	27	33	16	9

※平成29年度は、28年度数字の介護保険98%、介護予防・日常生活支援総合事業は100%を目標としています。

【収入】	①介護報酬・事業費収入	18,637 千円(介護15,681千円+総合事業2,956千円)
	②介護・事業負担金収入	2,294 千円(介護1,841千円+総合事業314千円 公費含む)
	③その他の事業収入	2,688 千円(補助金2,400千円、単独事業288千円)
	④受託金収入	352 千円
	計	23,971 千円

【支出】	①人件費支出	20,714 千円 (正職1名、任用3名、非常勤10名)
	②事業費支出	1,530 千円
	③事務費支出	234 千円
	④負担金支出	25 千円
	⑤支払利息支出	7 千円
	⑥固定資産取得支出	1,198 千円
	⑦リース債務返済支出	150 千円
	計	23,858 千円 (当期資金収支差額 113千円)

事業名		溝口障害者居宅介護事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		介護報酬収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
5,183	5,717	4,851	37	829	0

・障害福祉サービス事業を行う。

【事業概要】  
 <対象者> 身体、精神、知的、児童の障害者及び障害児  
 <自己負担> 世帯収入の高い方(現在1名)

【平成29年度 利用者数の年間目標:上段は平成28年実数見込】

	障害区分			
	身体	精神	知的	児童
平成28年度	69	48	12	0
平成29年度	60	48	12	0

※平成29年度は、28年度数字の98%を目標数字にしています。

【収入】

①介護報酬収入	4,851 千円
②利用者負担金収入	37 千円(1割負担)
③受託事業収入	829 千円
計	5,717 千円

【支出】

①人件費支出	5,171 千円 (非常勤4名)
②事業費支出	509 千円
③事務費支出	35 千円
④負担金支出	2 千円
計	5,717 千円 (当期資金収支差額 0千円)

事業名		移送サービス事業					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		利用料収入					
236	413	413					

・移送サービス事業を行う。

【事業概要】  
 <対象者> 要介護1以上の認定を受けた方、障害の方  
 <自己負担> 輸送料金として 町内200円 町外は5km毎に200円

【平成29年度 利用者数の年間目標:上段は平成28年実数見込】

	区分						
	町内	5km未満	5~10km	10~15km	15~20km	20~25km	25~30km
平成28年度	95	4	19	51	36	2	1
平成29年度	95	4	19	51	36	2	1

※平成29年度は、28年度数字の98%を目標数字にしています。

【収入】

①利用料収入	413 千円
計	413 千円

【支出】

①人件費支出	159 千円
②事業費支出	246 千円
③事務費支出	8 千円
計	413 千円 (当期資金収支差額 0千円)

議案第6号

平成29年度社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会会計予算(案)について

別紙のとおり、平成29年度社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会会計予算(案)について、社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会定款第15条の規定により同意を求める。

平成29年3月23日

社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会

会 長 鞍 掛 宣 史

